

おじゃまします



ガラス工芸

潮工房

今回は、管理課柳田が『潮工房』を訪ねて、代表の小西さんにお話を伺いました。

ガラス工芸との出会いは？

「大学生の時興味を持ち新潟ガラスセンターを見学。その後アメリカでも学びました」

作品の特徴は？

「レースグラスやムリーニという細かく模様が出る技法を取り入れています」

ガラス工芸の魅力は？

「私達の技法の基本は約30年前に確立。近代化した設備でも量産できず、コツコツと一つずつ作らなければならぬのが性に合っています。全て自分の手にかかっていて、手を抜くことも人任せにすることもできないので、やりがいを感じます」

製作する上での苦労は？

「炉は常に1,000℃を超え、夏場の暑さは殺人的。量産できないが、価格を極端に高額にはしたくないので難しい。最近では原材料、燃料の高

騰もあり厳しいです」

三浦に工房を構えたのは？

「子供の時に遊びに来て、海や星がきれいで印象に残っていました」

作品は当所50周年式典表彰記念品として好評でしたが、他にはどんなところで？

「昨年の洞爺湖サミットで使用されたようです。有名料亭でも結構使われています」

好きな工芸作家は？

「日本では、船木倭帆さん」
今後の展望は？

「自分達や現代のガラス作家の作品を鑑賞できる小さなギャラリーを作ること。また、間伐材の利用など環境負荷がより少ない方法で工房を運営したり、日本以外の国でも作品を発表したいです」

*三浦市初声町和田2645

— 7 TEL 888—4677

*10時～17時 日曜定休



江波 富士子さん 小西 潮さん